

## 子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見

### テーマ：産前・産後のパパママ支援

意見
<b>・各種講座に対する意見</b>
初産婦向けの講座は充実している一方、BP2プログラムなどの経産婦向け講座が少ないと感じるので、充実させてほしい。
パパを対象にした講座が充実してきてはいるが、まだまだ回数が少なく、対象者が限られてしまう。開催回数を増やしてほしい。
<b>・家事・育児への支援、産後ケア事業に対する意見</b>
家事・育児の支援が、子どもが1歳になると利用できなくなってしまう。1歳以降も支援が受けられるように制度を改善してほしい。
家事支援事業、産後ケア施設などの存在や利用条件を知らず、利用したいときに利用できなかった。周知に力を入れて、より多くの人に利用してもらった方がいい。
産後ケア施設の利用や家事支援などの産後サービスの利用手続きのために、窓口へ行かなければならない。電子申請やスマートフォンアプリを活用して、簡単に手続きできるようにしてほしい。
妊婦はつわりがとても辛く、ケアを必要とする時期。特に上の子がいると、つわりで体調が優れなくても世話をしなくてはならない。つわりの時期における母親のサポートを充実させてほしい。
子どもが離乳食期に入ると、育児の負担が増してくる。子どもが満7カ月を迎えると産後のデイケア利用出来なくなってしまうが、それ以降もケアを必要とする家庭はたくさんある。利用期間をもう少し長くしてほしい。
産後ケアの事業は最初に利用する際のハードルが高いように感じる。気軽に利用できるよう、案内や広報を工夫してほしい。
かんがるーブックを配布してもらったタイミングが遅く、事業を利用するタイミングを逸してしまうことがある。妊娠届を出したときなど、早めの時期に渡してほしい。

意見

・各種助成に対する意見

中野はファミリー向けの住宅が少なく、あっても家賃が高い。物価も高騰していることから、区内で3人以上の子どもを育てるのに不安を感じる。子育て世帯向けの住宅供給を増やすほか、子どもの人数に合わせて、住宅手当を出すなど経済的な援助があると、安心して定住しやすくなる。

産後にもらえる子育て応援事業で、カタログギフト使うのをやめてほしい。もらえるのはうれしいが、商品を選び、申請する手続きに時間がかかるうえ、欲しい物がない。続けるとしても商品のラインナップを見直してほしい。または、電動自転車等の購入費に対して還付してもらえたり、おむつの定期便のような仕組みがあると良い。

・保育園や一時的な預かりサービスに対する意見

保育料や一時預かりの利用料が高く、経済的に負担感が強いので、軽減してほしい。

休日保育を利用できる施設が1園しかない。日曜や祝日に気兼ねなく子どもを預けられるようにしてほしい。

病児保育を行っている施設が1か所しかなく、場所が遠い。施設を増やし、利用しやすくしてほしい。

保育園の情報発信が少なく、行事や普段の様子が分からず、情報を集めづらい。

意見

・その他区の施策に対する意見

区内に子ども服や、子ども用品などを買えるお店が少ないため、区外まで買いに行かなければならず、とても不便。積極的に誘致してほしい。

区内に授乳ができたり、調乳するためのお湯を提供してくれる場所が少ないので、これからも増やしてほしい。  
また、区役所1階の授乳室で使えるお湯の温度がわかるようにしてほしい。

子育て支援関係の施設を中野区のホームページで調べても、1ページずつ確認しなくてはならず、ひとつひとつ確認するのが手間に感じる。一度に確認できるようになると良い

子育てひろばの利用時間が短く感じる。朝も夕方も、もう少し長く、子どもと遊べる場所にしたい。

住所によってすこやか福祉センターの担当区域が決められているが、実際には周辺の交通事情的に別のすこやかの方が通いやすいことがある。任意で選べるようにしてほしい。

中野坂上、中野新橋、新中野エリアから中野区役所までのアクセスが悪いので、その区間を循環するコミュニティバスを整備してほしい。

赤ちゃんを連れて公園で遊んでいると、小学生のボール遊びと時間・場所が重なることがあり、危険を感じる瞬間がある。乳幼児と就学児でゾーニングをするなど、お互いに利用しやすい場所にしてほしい。

中野駅及び東中野駅の東口はエレベーターがない。ベビーカーを使っているととても不便なので、早く設置してほしい。